



※※2015年8月改訂（第5版、処方箋医薬品表示変更等に伴う改訂）
 ※2007年9月改訂

日本標準商品分類番号
873121

貯 法：室温・遮光保存
 使用期限：容器、外箱に表示の使用
 期限内に使用すること

日本薬局方

処方箋医薬品
 （注意—医師等の処方箋
 により使用すること）

チアミン塩化物塩酸塩注射液

Thiamine Chloride Hydrochloride Injection

塩酸チアミン注10mg「フソー」
 塩酸チアミン注20mg「フソー」
 塩酸チアミン注50mg「フソー」

	10mg	20mg
承認番号	21800AMX10072	21800AMX10071
薬価収載	1986年3月	1986年3月
販売開始	1957年6月	1957年6月
再評価結果	1974年7月	
	50mg	
承認番号	21800AMX10074	
薬価収載	1986年3月	
販売開始	1957年6月	
再評価結果	1974年7月	

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

※【組成・性状】

販売名	塩酸チアミン注 10mg「フソー」	塩酸チアミン注 20mg「フソー」	塩酸チアミン注 50mg「フソー」
成分・分量 [1管(1mL)中]	10mg	20mg	50mg
添加物 [1管(1mL)中]	チオグリコール 酸ナトリウム	0.1mg	0.1mg
	ブドウ糖	50mg	—
	塩化ナトリウム	—	含有
性状	無色澄明の水溶性注射液		
pH	2.5～4.5		
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約1	約2	約2

—：含有しない

【効能・効果】

- ビタミンB₁欠乏症の予防及び治療
 - ビタミンB₁の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉體労働時など）
 - ウェルニッケ脳炎
 - 脚気衝心
 - 下記疾患のうち、ビタミンB₁の欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：
 神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺、
 心筋代謝障害
- 5.の適応に対しては、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

※【用法・用量】

塩酸チアミン注10mg、20mg「フソー」：チアミン塩化物塩酸塩として、通常成人1日1～50mgを皮下、筋肉内又は静脈内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

塩酸チアミン注50mg「フソー」：チアミン塩化物塩酸塩として、通常成人1日1～50mgを静脈内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 薬物過敏症の既往歴のある患者

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用（頻度不明）

ショック：ショック症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、血圧降下、胸内苦悶、呼吸困難等があらわれた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 [※]	発疹等

注) このような場合には、投与を中止すること。

3. 適用上の注意

- アンプルカット時：本剤にはアンプルカット時にガラス微小片混入の少ないクリーンカットアンプル（CCアンプル）を使用しているが、さらに安全に使用するため、従来どおりエタノール綿等で清拭することが望ましい。
- 静脈内注射時：静脈内投与により血管痛を起こすことがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。
- 皮下・筋肉内注射時：皮下・筋肉内注射にあたっては、組織・神経などへの影響を避けるため、下記の点に配慮すること。
 - 神経走行部位を避けるよう注意すること。
 - 繰返し注射する場合には、注射部位を変え、たとえば左右交互に注射するなど配慮すること。
 なお、低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児には連用しないことが望ましい。
 - 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は、直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。

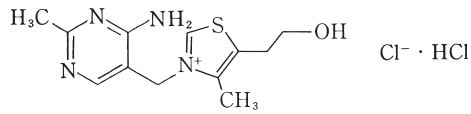
※※【薬効薬理】¹⁾

チアミン（ビタミンB₁）はATP存在下にthiamine diphosphateに変換し、生理作用を現す。糖質、たん白質、脂質代謝で、また、TCAサイクルの関門として重要な位置を占めるピルビン酸の脱炭酸反応やTCAサイクル内の α -ケトグルタル酸の脱炭酸反応に関与している。また、トランスケトラーゼの補酵素として五炭糖リン酸回路での糖代謝や核酸代謝にも関与している。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：チアミン塩化物塩酸塩 (Thiamine Chloride Hydrochloride)

構造式：



分子式：C₁₂H₁₇ClN₄OS·HCl

分子量：337.27

化学名：3-(4-Amino-2-methylpyrimidin-5-ylmethyl)-5-(2-hydroxyethyl)-4-methylthiazolium chloride monohydrochloride

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。水に溶けやすく、メタノールにやや溶けにくく、エタノール(95)に溶けにくい。結晶多形が認められる。

融点：約245℃(分解)

※【包装】


塩酸チアミン注 10 mg「フソー」	1mL	50管
塩酸チアミン注 20 mg「フソー」	1mL	50管
塩酸チアミン注 50 mg「フソー」	1mL	50管

【主要文献及び文献請求先】

※※1) 第十六改正日本薬局方解説書, C-2729 (2011)

【文献請求先】 アルフレッサ ファーマ株式会社 学術情報部
〒540-8575 大阪市中央区石町二丁目2番9号
TEL 06-6941-0306 FAX 06-6943-8212

販売元 **alfresa** アルフレッサ ファーマ株式会社
大阪市中央区石町二丁目2番9号

製造販売元  扶桑薬品工業株式会社
大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

SK-915-915A